

自己評価結果公表シート

1. 本園の教育目標

当園の教育方針は要約して

**「人としてそれぞれの個性をのびし
敢為進取 責任自主 誠実勤労」**

即ち、何でも積極的に進んで事にあたる。自分のことは自分です。

何事にも真心をもって骨おしみをしない。そういった人柄を育てる素地をつくりたいと心掛けております。

真心をもつためには小さい時から宗教心の芽生えを培うことも大切だと思います。そんな配慮もしています。

当園の教育目標と体力と精神力と頭脳づくりをめざして

音感教育（絶対音感と集中力、鋭敏な感覚を育てる）

知能教育（幼児の思考力、理解力を育てるために）

漢字教育（幼児にとっては、「かな」より「漢字」が易しい。漢字で教える教育）

体育教育（危険を避ける敏捷な反射神経を養う教育）

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目により自己評価をすることで全職員が自園を直視し教育内容や施設の改良に取り組むことを目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み
(1) 新園舎への移行	A	園児の安全第一に考え 教職員全員体制のもと無事完了
(2) 新園舎建設にむけて	B	新園舎建設中、運動場がなくなり講堂を有効に使用したり、外部の公園等の利用により対応した
(3) 1号園児と2号園児の保育の連携	B	2号園児の増加に対応するため、ぶどう組を設置し1号との共同時間以外の保育に備えた
(4) 1才2才組と兄弟3, 4, 5才児の連絡	B	1才・2才(3号)ときょうだい関係にある家庭が登降園に無駄のないよう保護者の負担軽減に努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	取り組むべき課題につき、全職員が共通理解し自己評価することにより教育内容の向上を果たした

◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
(1) 園庭で遊ぶ	新園舎へ移行して、工事により外で遊べなかった分、外で遊ぶように子どもに声を掛ける
(2) 給食の充実	おはしの使い方や食べ方のマナーについての指導や食育についての教育を進めていきたい
(3) 言葉	言葉の指導を進めていく
(4) 音楽教育	楽器の基本的な使い方を知り、音を楽しむ